



大阪府 本郷優希 7歳

優しさと希望を持ち続けてね。

願いを込めた名前「優希」

事件現場には、死力を尽くした娘の68歩のメッセージが  
残っていました。

足跡一步一步に、7年3カ月を生きた優希の想いが詰まっているように感じて、  
一步一步に込められた思いを感じたくて、その時の光景を想像しながら何度も  
何度も、その足跡をたどりました。

そして気が付きました、最後まで希望を捨てずに頑張り通した娘が、命をかけて「  
かけがえのない尊い命の大切さ」「生き抜く強さ」を教えてくれているの  
だと。

娘を産み育て「命」の大切さを学びました。娘の生き抜く最後の姿からも「命」  
の大切さを学びました。「命」にふれたからこそ実感できる「命」の大切さです。  
そして、人はどんな困難の中でも「生きたい」という意志や希望を最後まで持  
ち続ける、たくましい力を持っている事を知りました。

知っていますか？

「今ここに生きている」あなたが、そこにいてくれるだけで周りのすべての人  
が幸せになっているということ。

覚えていてくださいね。どんな困難にあっても、それを乗り切ることができる、  
たくましい力があなたの中にもあることを。

忘れないでください。沢山の人に愛されていることを。

そしてあなたの「命」は、社会の宝であることを。

未来の希望であることを。私たちは過去を生きているので<sup>+</sup>

未来を生きているのではなく「今」を生きています。

「過去」から学んだ事を「今」に生かし

「未来」に繋げていく、それが「今」を生きる

私たちにできることではないでしょうか。

優しさと希望をありがとう優希



